2025年度　通信教育実施計画

論理国語

指導目標	言葉による見方・考え方を働かせ，言語活動を通して，国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 （1）　実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 （2）　論理的，批判的に考える力を伸ばすとともに，創造的に考える力を養い，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 （3）　言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

教材	教科書：新編論理国語（東京書籍） 学習書：新編論理国語学習書 レポート、学習ノート

レポート	全12回
面接指導	標準時間数：3時間（※面接指導減免8割の学習者の必要時間数は1時間）
放送	全84回（N-gaku Online Spaceで視聴。高校講座HP視聴可。）
到達度チェック・試験	中間到達度チェック（9月）・年度末試験（1月）

単位	4 単位
評価	【①知識・技能】レポート各回の学習内容・成果、中間到達度チェック及び年度末試験での成果に基づき評価します。 【②思考・判断・表現】レポート各回の学習内容・成果、中間到達度チェック及び年度末試験での成果に基づき評価します。 【③主体的に学習に取り組む態度】レポート各回の学習内容・成果、レポート提出状況（提出期限）、スクーリング出席状況（必要時間の出席充足）、放送視聴状況にもとづき評価します。上記①～③の総合評価により、年度末に5段階で評定を決定します。

	添削指導（レポート）		面接指導（スクーリング）		放送（NHK高校講座）		オンライン指導	到達度チェック 年度末試験
月	回（提出期限）	指導単元・項目	週	指導内容・学習活動等	回	内容	内容	内容・範囲
4			1 2	①＜論理国語とは＞ ・「論理の力」（P．146～）にある具体例や問題を活用しながら、一年間の学習を通じて論理的な言葉の力を学び、養っていくことを確認する。	1 ｜ 5	・論理国語とは	オリエンテーション （学習方法等・VOD）	
			3 4	②＜対話とは何か＞ ・「おしゃべり」と「対話」の違いを理解し、筆者の述べる「対話」の意義を説明できる。	6 ｜ 8	・対話とは何か		
5	第１回 （５月15日）	・論理国語とは ・対話とは何か	1 2	③＜「ふしぎ」ということ＞ ・具体例を読み取り、「ふしぎ」という感覚と自然科学との関連について説明できる。	9 ｜ 11 12 ｜ 14	・「ふしぎ」ということ ・【書く】資料を整理し、テーマを吟味しよう		
			3 4	④＜【書く】資料を整理し、テーマを吟味しよう＞ ・教科書で示されている資料を様々な観点から整理して、テーマが適切か吟味する。	15 ｜ 16 17 ｜ 18	・学ぶことと人間の知恵 ・ラップトップを抱えた「石器人」		
6	第２回 （6月15日）	・「ふしぎ」ということ ・【書く】資料を整理し、テーマを吟味しよう	1 2	⑤＜学ぶことと人間の知恵＞ ・「知恵」の持っている側面を整理して、「学ぶこと」に対する筆者の考えを説明できる。 ＜ラップトップを抱えた石器人＞ ・ 科学技術の進歩でリスクの認識がどう変化したのかをまとめ、タイトルの意味を説明できる。	19 20 ｜ 21	・文章を読み比べるために ・少女たちの「ひろしま」 ・物語の外から		
			3 4	⑥＜少女たちの「ひろしま」＞ ・戦時下を生きた人々の日常を本文から想像し、筆者のいう「回路」について説明できる。 ＜物語の外から＞ ・体験の「語り」について整理し、物語やその外側の「なにか」が「自己」や「世界の理解」にもたらす役割を説明できる。	22 ｜ 23 24 25 ｜ 26	・戦争について書かれた文章を読み比べる ・さまざまな実用文		

7	第３回 （7月5日） 第４回 （7月30日）	・学ぶことと人間の知恵 ・ラップトップを抱えた「石器人」 ・文章を読み比べるために ・少女たちの「ひろしま」 ・物語の外から ・戦争について書かれた文章を読み比べる	1 2 3 4	⑦＜実用文・手紙・メール・履歴書＞ ・実用文の目的、ねらいを理解し、実社会で活用できる力を身につける。 ⑧＜思考の肺活量＞ ・比喩表現と具体例に注意して全体を読み取り、筆者が述べる思考のあるべき姿について説明できる。	27 ｜ 28 29 ｜ 31 32 ｜ 34	・手紙・メール・履歴書 ・思考の肺活量 ・【書く】短い論文を書いて読み合おう		
8	第5回 （8月20日）	・実用文・手紙・メール・履歴書 ・思考の肺活量	1 2 3 4	⑨⑩＜【書く】短い論文を書いて読み合おう＞ ・文章を読んで自分の考えを短い論文にまとめ、読み合う。他者と読み合うことを試み、意見交換を行い、自分の論文を読み直し、より良いものに仕上げる。	35 ｜ 37	・弱肉強食は自然の摂理か		
9	第6回 (9月15日)	・【書く】短い論文を書いて読み合おう	1 2 3 4	⑪＜弱肉強食は自然の摂理か＞ ・具体例や実験結果を踏まえて、「自然の摂理」について説明できる。 ⑫＜図表の読み取り方＞ ・図表を分析的に読解するための方法を学ぶ。	38 ｜ 39 40 ｜ 45	・図表の読み取り方 ・楽に働くこと、楽しく働くこと	前半学習のまとめ （中間到達度チェックの範囲や出題について・VOD）	中間到達度チェック （レポート 第１・２・４回）
10	第7回 (10月10日)	・弱肉強食は自然の摂理か ・図表の読み取り方	1 2 3 4	⑬＜楽に働くこと、楽しく働くこと＞ ・筆者の経験や紹介された著書の内容を踏まえ、楽しく「働く」ということを筆者がどうとらえているか、自分なりに説明できる。 ⑭＜豊かさと生物多様性＞ ・生物多様性の問題点を整理し、重要性と今後の課題について説明できる。 ＜【書く】仮説を立てて検証しよう＞ 仮説を立てて検証し、その過程を整理し、まとめる。	47 ｜ 50 51 52 ｜ 54	・豊かさと生物多様性 ・考える楽しみ「真の価値」を求めて ・【書く】仮設を立てて検証しよう		
11	第8回 (11月5日) 第９回 (11月30日)	・楽に働くこと、楽しく働くこと ・豊かさと生物多様性 ・考える楽しみ「真の価値」を求めて ・【書く】仮説を立てて検証しよう ・ロボットが隣人になるとき	1 2 3 4	⑮＜知識における作者性と構造性＞ ・ネット情報と本の作者性と構造性の２点における違いを踏まえ、「知識」「情報」とはどのようなものか説明できる。 ⑯＜言葉は「ものの名前」ではない＞ ・「シープ」「デビルフィッシュ」などの具体例を読み取り、言葉の働きについて説明できる。	55 ｜ 59 60 ｜ 62	・ロボットが隣人になるとき ・知識における作者性と構造性		

12	第10回 (12月20日)	・知識における作者性と構造性 ・言葉は「ものの名前」ではない	1 2	⑰＜【書く】資料を活用して論述しよう＞ ・資料を集め、整理、分析し、設定した論題に沿って論述する。	63 ｜ 65	・言葉は「ものの名前」ではない		
			3 4	⑱＜もう一つの知性＞ ・科学技術の発達による「知性」の在り方の変化をまとめ、どのように関わっていくのがよいか説明できる。	66 ｜ 68	・【書く】資料を活用して論述しよう。	後半学習のまとめ （年度末試験の範囲や出題について・VOD）	
1	第11回 （1月30日）	・【書く】資料を活用して論述しよう ・もう一つの知性	1 2	⑲⑳＜未来のありか＞ ・ 小見出しを参考にして各段落の内容と関係を読み取り、未来とは何かについて説明できる。	69 ｜ 71	・もう一つの知性		年度末試験 （レポート 第5・７・8回）
			3 4		73 ｜ 76	・未来のありか		
2	第12回 （2月15日）	・未来のありか	1 2		77 78 ｜ 80	・言葉の扉・知っておきたいカタカナ語/紛らわしい感じ ・【読む】やさしい日本語		
			3 4		81 82 83 84	・ブックガイド ・言葉の扉、的確に表現するために ・考える楽しみ、困難な時代に ・論理国語を学んで		
3			1 2					
			3 4					